



伊豆新聞 下田支社
 下田市東本郷2-9-15
 〒415-0035
 電話 0558 (22) 2555
 FAX 0558 (22) 2556
 松崎支局
 電話 0558 (42) 3225
 FAX 0558 (43) 0483

伊豆新聞本社
 〒414-0054
 伊東市鎌田1290-6
 電話 0557 (36) 1234

伊豆新聞デジタル
<https://digital.izu-np.co.jp>

筑波大など 実験チーム

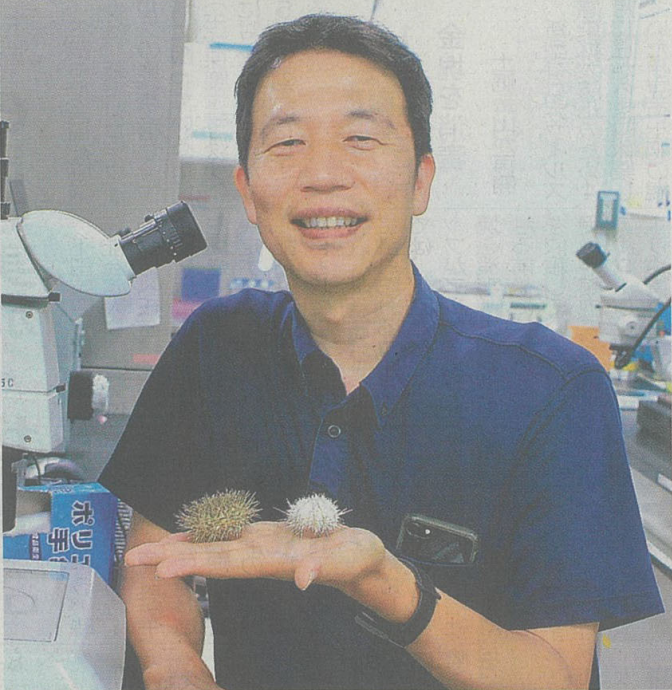
白いウニ 人工的に作製

谷口准教授ら 世界初の成功 「遺伝子研究に活用」

下田市5丁目の筑波大下田臨海実験センターの谷口俊介准教授(43)が率いる筑波大、国立遺伝学研究所、お茶の水女子大、広島大の研究チームはこのほど、人工的に白いウニを作り出すことに成功したと発表した。谷口准教授は「今後の遺伝子研究に大きく役立つ」と期待する。

実験はハリサンショウウニを使用し、受精卵の色素合成をつかさどる遺伝子を破壊することで、人工的に白いウニを作った。色素のない遺伝子を持ったウニが交配を繰り返して、3世代先でも4分の1の確率で白いウニが誕生し、真つ白いツアルビン系統のウニを人工的に作り出すことに成功した。

谷口准教授は「伊豆漁協の協力もあり、大きな成果が残せた。これからは神経など、他の遺伝子がどのように成り立っていくのかを調べ、人間の遺伝子研究にも活用したい」と語った。



通常のハリサンショウウニ(左)と人工的に作った白いウニを見せる谷口准教授=下田市の筑波大下田臨海実験センター(提供写真)

通常のハリサンショウウニ(左)と人工的に作った白いウニを見せる谷口准教授=下田市の筑波大下田臨海実験センター(提供写真)

の遺伝子がどのように成り立っていくのかを調べ、人間の遺伝子研究にも活用したい」と語った。